

平成28年度実施事業調査シート

■ 基本事項(事業の位置づけ)

No. 16	項目名	健幸ポイント制度推進費			主要な施策の 成果 ページ	55	担当 部署	健康福祉部 健康増進課
予算 科目	会計	1	一般会計		総合 計画 体系	分野	健康・保険	
	款	4	衛生費			基本方針	市民の健康づくり	
	項	1	保健衛生費			施策	市民の健康づくり支援	
	目	2	予防費		当初予算における区分	新規施策・拡大施策・ 重点施策 ・その他		
事務事業	205	市民の健康づくり推進費			↑該当するものを○で囲んでください			

■ 事業概要(実施内容)

事業の背景	(事業開始の背景は?実施に至った経緯は?) 健幸都市基本計画の策定にあわせ、市民の健康づくりへの関心を高めるとともに、市民のうち健康や運動に無関心または不十分な人々に、有効なインセンティブの活用により、健康づくりのきっかけや継続へのモチベーションとなるよう、広く市民を対象に当事業を開始した。
事業の対象	(事業の対象、範囲となる人や物は何なのか?) 19歳以上(年度末時点)の草津市内在住の人
事業の目的	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか?) 健康づくりに関心を抱くきっかけづくり、生活習慣改善のための行動変容の動機づけができることと、意識やモチベーションを高める効果の継続により生活習慣病予防・介護予防ができる。
事業の内容 (取り組み)	(どういった仕事の内容を、どのような手法・やり方で実施したのか?) 個人で健康づくりの目標を立て実践したり、特定健診やがん検診を受診することなど健康づくりに関する取り組みをされた内容に応じてポイントに換算し、一定のポイントを貯めると景品に交換するとともに、抽選で賞品が当たるようにしている。 市内の公共施設等にポスター、チラシを設置するとともに、イベントや検診通知、ホームページ等で事業の周知を行った。

■ 予算・決算状況

		当初予算の状況					決算の状況・実績				
内訳・詳細		【参考:平成28年度繰越(H27→H28)】 報償費 648千円 印刷製本費 149千円 【合計】 797千円					【参考:平成28年度繰越(H27→H28)】 報償費 567千円 印刷製本費 187千円 消耗品費 6千円 【合計】 760千円				
	事業費(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源	合計	国県	市債	その他	一般財源
	予算・決算額	0				0	0				0
	前年度比										
◆「当初予算額」と「決算額」の増減理由(事業の進捗状況等)		平成28年度当初予算で要求したが、加速化交付金の取り込みのため平成27年度2月補正予算要求を行い、明許繰越し、平成28年度に事業実施した。 健幸ポイント制度に関心がある方が数多く、ポイントカード付きチラシを増刷する必要が生じ、印刷製本費と啓発用に消耗品費を他事業から流用した。									
◆平成27年度事業費(千円)	合計	0				0	0				0

■ 事業所管部署による評価

	評価	項目	評価の理由・評価に関する説明
必要性	4	市民ニーズが高い	少子高齢化が進むなか、健康寿命の延伸がはかれる。健康づくりに取り組む市民を増やす必要がある。
	3	市の他の政策よりも優先的に実施すべきである	
	3	対象および内容が類似する事業がない	
妥当性	1	法令により実施することが義務付けられている	健幸都市基本計画の基本方針2「ひとの健幸づくり」基本施策2の「個人の健康づくりの推進」に位置づけられている。また、健康くさつ21(第二次)の基本方向4の施策「健康づくりに取り組む人とチームを増やす」に位置づけられる。
	2	法令に定められた市の責務を具現化して実施する事業である	
	4	上位計画に明確に事業が位置づけられている	
	3	国・県・民間の類似サービスと重複していない	
	3	市民の基本的生活の維持・確保に必要な事業、または内部事務である	
効率性	3	他の手法に比べて効率のよい事業手法である	健康への取り組みやその成果に対するインセンティブとしてのポイント交換は効率的かつ効果的である。
	3	コスト削減の余地はない	
	3	受益者一人当たりのコストは適正である	
	3	受益者負担や補助の割合に問題はない	
継続性	4	事業を継続することで、さらなる効果が見込まれる	事業を継続することで健幸ポイント制度が周知され、健康づくりに取り組む人が増えていき、健康づくりが習慣化することで生活習慣病予防・介護予防、医療費の削減につながる。
	3	所期の目的を達成しておらず、引き続き実施する必要がある	
	4	社会状況の変化に対応した事業内容である	
成果	4	当該年度の事業目的を達成できた	運動習慣がついた方や体調やストレスの改善に効果があったという声や事業の継続を望む声も多い。
	4	受益者の評価が得られている	
	4	費用対効果が大きい	

↑ 次の4段階により該当する数値を記入してください。

(4.よく当てはまる。 3.およそ当てはまる。 2.あまり当てはまらない。 1.ほとんど当てはまらない。)

■ 事業実施効果および課題、将来展望

事業実施効果	健幸ポイント制度の参加者は703人で当初予定していた参加人数(500人)よりも多く、約6割に運動習慣がついたと答えており、当事業は健康づくりのきっかけにつながっている。					
事業に対する市民の意見、反応	健康づくりの励みになる、健康づくりへの意識が高まった、目標を持つことでやる気につながった、気軽に取り組めたという声があり、継続してほしいという声が多かった。もっと事業のPRをしていく必要があるという声もあった。					
事業の今後の課題、将来展望	比較的余暇時間のある60代、70代の健康づくりに関心の高い方の参加が多かった。青年期・壮年期が健康づくりに取り組むきっかけとなるよう周知していく必要がある。現在、県はヘルスケアポイント事業について検討しており県の動きを踏まえつつ今後、他のポイント制度との連携も含め、健幸ポイント制度のより良い在り方を検討していく必要がある。					
※平成29年度の予算措置	予算額(千円)	合計	国県	市債	その他	一般財源
		765				765
	28年度比			-		
	積算根拠					
		報償費(640千円) @530円×800人=424千円 @200,000円×1式×1.08=216千円 消耗品費(27千円) @24,470円×1.08=27千円 印刷製本費(98千円) @150円×100枚×1.08=17千円 @7.5円×10,000枚×1.08=81千円				

※ 当該事業が平成28年度に終了した場合は、当該事業に代わって措置した予算や関連予算を記載してください。